



名刺交換をしている北野理事長(左)！

特定非営利活動法人 礎の石孤児院理事長

北野 直人

皆さまの御支援、いつも本当にありがとうございます。先月のニュースレターでも、少しご紹介させて頂きました、アメリカはハーバード大学と並ぶ最難関校の1つである「ジョンズ・ホプキンス大学」の日本 NPO 団体である「ジョンズ・ホプキンス大学 CCP フォーラム」様から、私ども孤児院への御支援贈呈式が、先日都内で行われ、当孤児院からは、理事長である私が招待に預かり、出席させて頂きました。特にカンボジアに大変興味があるということで、孤児院の働きに関して少しお話を聞きたいということとなり、約 20 分程お話する機会に恵まれました。式には、約 20 名の方が出席されていましたが、皆真剣に耳を傾けて下さり、個人的にも支援していきたいと申し出てくださる方が何人もおられ大変、実のある時となりました。国や内容によっても異なりますが、一人の方の御支援によって、子どもを一人、いやそれ以上に助けることが出来ます。それ故、御支援したいという御申し出は本当に嬉しく思いました。皆さまの御支援は子供たちの命を支えています。これからも御支援、サポート、よろしくお願い致します。

カンボジア孤児院レポート

ルツ前田

チョムリアプスワ！（こんにちは！）『礎の石孤児院』の働きの為の皆様からのご支援とご協力を心から感謝申し上げます。2月に、学校対抗の競技が行なわれて、学校予選を通過した孤児院の子ども達も5名参加しました。5名が参加した種目は走り高跳びと砲丸投げ、競歩、バレーボールなどで、砲丸投げでは第1位、競歩は第3位、バレーボールは第2位の成績でした。学業の成績が伸びる事も嬉しいですが、スポーツでの活躍も彼らの心身面の成長を見ることが出来、大変嬉しく思っています。現在（3月10日）に行なわれた前期進級試験の結果を待っている状況です。良い結果を皆様にもご報告が出来るようにと願っています。



バレーボールに真剣な子どもたち！

フィリピン孤児院レポート

エディー・エミア

フィリピン孤児院へのご支援を心から感謝致します。毎年3月は一年で一番ワクワクする月です。なぜならいろいろなイベントがあり祝いごともあるからです。2012年から2013年の学期最後の試験が、3月11日から15日にあります。この一週間は礎の石ダバオ孤児院の子どもたちを含め、すべての生徒にとって試験と評価の週です。3月3日（日）、学校対抗の知性と理解力を競うコンテストが行われました。学校の代表として出場したのはジェニー・オラートです。この子は礎の石孤児院の援助を受けて学校へ行っています。彼女はなんとこのコンテストで優勝しチャンピオンに輝きました！この事をお伝え出来るのは心からの喜びです！彼女の学校も、学校に名誉をもたらした彼女を誇りに思っています。そしてまた、学生のリーダーとなるように推薦を受け、3月7日（金）にこの学校のオーナーでもある校長先生の面接を受けることになっています。スワワンでは礎の石孤児院の5人の子どもたちが成績優秀な生徒として表彰されました。彼らが非常に協力的で、学校の活動にも積極的に参加しているので先生方もとても喜んでます。フィリピン孤児院に対する皆様の経済的なご支援、継続的なサポートを心から感謝致します。引き続き皆様の暖かいご支援とご協力をどうぞよろしくお願い致します。



ファーストフードでご機嫌なジェニー！

ザンビア孤児院レポート

シオン桜子ムタレ

ムリ ボワンジ（こんにちは）皆様のご支援に心から感謝申し上げます。
ルサカで生活する三人の子ども達の進級が決まりました。が残念な事に学費がまだ満たされていません。マリアは年間 75000 円、フィデリスとテリーズ二人はそれぞれ年間 105000 円必要です。学業の遅れは、将来の方向に影響してしまいますので、どうか緊急にご支援いただけるようよろしくお願い致します。その他の子ども達は皆元気にやっております。ようやく雨季も終わりに近づきましたが寒い日々が続いています。孤児院学校（カセンガ）にも多くの子ども達が入学の申し込みに来ています。小さな学校と言うには充分な設備は何もありませんが、「知識こそ力」と今日も熱心に教えています。



子供たちのため奔走中の桜子スタッフ！

ブラジル孤児院レポート

松本 弘子

皆様の尊いご支援とご協力をありがとうございます。ここアラサトゥーバでは、とても涼しくなってきましたが、雨もまだ十分あって、空気も潤っており、良い気候です。先日はびっくりすることがありました。夜が明けかかる頃、屋根裏でドーンという音がし、水道の水が天井からザーザー降り始めました。一瞬、屋根裏に不審者か？ と頭をよぎりました。気配を探ってみても、ただ水が勢い良く落ちてくるだけなので、気を取り直し、大家さんに電話をしました。彼女から「元栓を閉めて、水道会社に電話して」と言われました。元栓の閉め方はわからなかったもので、対応して下さる方が来られるのを待ちました。その間も水がザーザー流れます。ドーンという音で、近所の犬たちが一齐に吠え始めていました。様子を見に出たのか、日本語を教えている女の子の家のおじいさんが通りに出て



ご自宅での松本スタッフ！

おられたので、手を振って合図をすると、家まで来て、元栓を探し出して閉めてくださいました。はしごを持ってきて屋根裏を調べてくださったところ、水槽を支えていた二本の木のうち一本が古びて、それが割れて、水槽が傾いたのだそうです。いろいろなことが起こる度に知らなかった事柄を教えていただき、また学びがあり、感謝しています。また、真夜中でなくてよかったと、ほっと胸をなでおろしました。

ますます増える世界の孤児たちに希望の人生を！

孤児院に入ってくる子どもたちは、HIVに感染している孤児もおり、両親がいない子どもはもちろん、生年月日の分からない子どもや、もし孤児院に来ていなければ間違いなくもう生きてはいなかったと思える子どもたちばかりです。

現在、礎の石孤児院では、カンボジア、フィリピン、ザンビアにおいて孤児たちを受け入れ、孤児院としての働きをしております。

また、日本において児童養護施設設立の支援をしていきます。

私たちは、さらに多くの国々で孤児院の働きを始めていきたいと願っています。どうぞご支援をよろしくおねがい致します。

支援金送付先

【郵便振替】

(口座番号) 00130-5-24249

(口座名) 特定非営利活動法人 礎の石孤児院

【銀行振込口座】 みずほ銀行 五反田支店

(口座番号) 普通 2069305

(口座名) 特定非営利活動法人 礎の石孤児院

児童養護施設（孤児院）設立支援のため

【銀行振込口座】 みずほ銀行 五反田支店

(口座番号) 普通 2915961

(口座名) 特定非営利活動法人 礎の石孤児院

日本での孤児院設立及び支援のため

【郵便振替口座】

(口座番号) 00120-5-417839

(加入者名) 特定非営利活動法人 礎の石孤児院

日本での孤児院設立及び支援のため

「礎の石」パートナー募集中

私たち NPO 法人「礎の石」孤児院では、毎月10千円をもって孤児たちを支えてくださる「礎の石」パートナーを募集しております。

お申し込みは郵便番号・住所・氏名・電話番号・メールアドレスをお書き添えの上、下記の住所、Eメールアドレスまでお送りください。

特定非営利活動法人 礎の石孤児院東京事務局

〒141-0031

東京都品川区西五反田1-14-1 クレイズヒル岩崎201

電話：03-5740-8814 FAX：03-5740-8817

E-mail：ishizue@athena.ocn.ne.jp

<http://www.cornerstone.or.jp/>